

## JISA記者会見・懇談会開催



平成27年6月18日、JISA会議室において報道記者及びマスコミ関係者を対象とした「JISA記者会見」が開催された。JISAからはこのたび会長に就任した横塚裕志氏をはじめ、島田副会長、原孝副会長、室井副会長、河野憲裕副会長・専務理事が出席し、報道関係者は18名が参加した。

最初に横塚会長より「新しい風を協会や業界に取り入れて、新たなスタートを切りたい。現状では、従来型の開発案件がかなり多く、エンジニアが不足しているが、一方で世界的なデジタルビジネス革命ということで、大きな産業革命の嵐が吹き始めつつある。この中で日本の産業がどう生き残っていくかは非常に難しい課題であり、われわれ情報サービス産業がそのパートナーとして支援をしていくことが重要な役割となってきた。しかし今までと同じような仕事のやり方、ビジネスモデルでは日本の産業を支援することはできない。われわれはもっと勉強して新しい技術を身につけ、新しい人材を育成し、新しいビジネスモデルに取り組んでいかななくてはならない。業務が繁忙なため人材育成は困難であり、また教育投資には多額のコストがかかることも事実だが、このジレンマを何とかして打破しなくてはならない。JISAとして、会員企業の皆さんを支援し、また刺激をするとともに、今後どう変わっていくかをみんなで議論しなくてはならない。理事会等での議論を大切にしたい。今年度は一番最初にビジョンを作る。会員企業の皆さんがどのようなことに悩み、問題意識を持っているのか、本来情報サービス産業が目指すものはいったい何か、原点をみんなで議論をし、情報サービス産業の未来を語り合いたい。」旨、挨拶があった。

その後、各副会長からは、担当する各委員会の今年度の活動テーマについて、抱負や問題認識が示された。

その後、質疑応答が行われ、「顧客の業種によるデジタル化への姿勢の違い」「マイナンバーのシステム構築のスケジュールに対する認識」「標的型攻撃などサイバー攻撃への対応」

「業界ブランドの確立」「業界のマーケティングやセールスに対する取組」「顧客と共同でのビジネス創造」「人手不足の状況における人材確保・育成」などのテーマが話題となった。

記者会見終了後、懇談会が行われ、報道記者及びマスコミ関係者と新役員との間で活発な交流が行われた。

(田畑)